

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 3月 30日

仕事の内容	生活支援ショートステイ事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者保健福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	3	民生費	1	社会福祉費	3	老人福祉費	事業	4	高齢者日常生活支援事業費
-----	---	-----	---	-------	---	-------	----	---	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 以下の要件を満たす者 ①市内在住で住民登録され、65歳以上で要介護認定で非該当となり、養護者の疾病等により養護を受けることが困難なこと(ひとり暮らしにあっては、一時的に単身生活が困難なこと) ②虐待により一時的に保護が必要な者 ③徘徊行動のある認知症の65歳以上の者	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 市内65歳以上の高齢者数(平成29年4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 対象者にショートステイを利用してもらうことで、当該高齢者及びその擁護者の福祉向上と家庭生活の安定を図ることができている	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 利用者数(延べ利用日数)
	③ そのために何をしましたか。 在宅の高齢者を養護している家族等が疾病等の理由により在宅での養護が困難となった場合、またはひとり暮らしの高齢者が一時的に単身生活が困難となった場合に、一時的に市内特別養護老人ホームに入所させる。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → ②利用者数(延べ利用日数)

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	21,387	21,957	22,350	
	成果指標	②の数値	人	58	83	110	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値		58	83	110	

3 経費	事業費(実績)		円	3,182,850	3,334,960	3,507,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,591,425	1,667,480	1,753,200	
		特定財源	円	1,591,425	1,667,480	1,754,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	823,300	826,700	825,300	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	4,006,150	4,161,660	4,332,500		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成4年に事業開始。当時は介護保険制度がなかったため、対象者は養護を必要とする常時ねたきりの高齢者であった。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成12年、介護保険制度開始により、本事業は要介護認定非該当者を対象とすることになった。また、虐待や認知症による徘徊高齢者を対象とした。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	利用者の実態としては、要介護認定非該当者より、被虐待者や徘徊者などを緊急に保護するケースの方が多い。

仕 事 の 内 容	生活支援ショートステイ事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法	
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	特になし。		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 ホームによっては、担当窓口月になっていても受入が困難なところもあり、受入施設に偏りがある。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 今後、ベット確保などの支払いの面について検討		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
	特になし。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
	成 果	成果を維持する。	経 費